

## 審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回甲州市地域福祉推進委員会
開 催 日 時	令和8年3月19日 午後3時00分～午後4時00分
開 催 場 所	甲州市役所本庁舎 2階 第二会議室
議 題	(1) 甲州市重層的支援体制整備事業実施計画について (2) 令和7年度重層的支援体制整備事業実績報告について (3) 令和7年度後見中核機関実績報告について (甲州市社会福祉協議会) (4) その他
出 席 委 員	小澤 一博、橘田 悦子、小宮山 淳子、塩野 晴美、清水 喜久夫、中村 文雄、古屋 親子、古屋 俊明、丸田 一穂、三科 英訓、宮原 健一、望月 明男（50音順）
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍 聴 人 の 数	0人
審 議 概 要	別紙会議録のとおり
事務局に係る事項	出席者 福祉総合支援課3名（土橋課長、松沢課長補佐、日原）
そ の 他	

令和7年度 第2回甲州市地域福祉推進委員会 会議録（令和7年7月2日）

内容	発言内容・決定事項等
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。
1. 開会	○事務局 開会
2. 委嘱状交付	○事務局 令和7年12月1日付の民生委員の改選に伴い、新たに委員に就任した丸田氏と塩野氏に対し、市長代理の福祉総合支援課長より委嘱状が交付された。 任期は令和8年3月19日から令和9年5月26日までである。
3. 委員長、副委員長の選任	○事務局 甲州市附属機関の設置に関する条例について説明。 事務局より、前任の中村氏の退任に伴う委員長の選任について諮られた。 委員の互選により甲州市民生委員児童委員連絡協議会会長の丸田委員が委員長に推薦され、委員長に就任した。
4. 委員長、副委員長のあいさつ	○委員長 「地域福祉推進の担い手である民生委員として3期目を務めております。福祉のすべてを把握してはおりませんが、皆様のご指導をいただきながら一生懸命務めさせていただきます。」
5. 議事 (1) 甲州市重層的支援体制整備事業実施計画について	○事務局 令和7年度から5年間を期間とする本計画について説明。  (質問・意見なし)
(2) 令和7年度重層的支援体制整備事業実績報告について	○事務局 令和7年度の活動実績を説明。  (主な質疑) ○委員 重層的支援について、特色のある事業や具体的な件数はどうか。  ○事務局 従来の縦割り窓口ではなく、例えば高齢者の相談からその家族、例えば障害のある子など、多機関にわたる課題についても、支援する課が集まり一緒に解決することを目指している重層的支援会議を開催している。令和7年度は、現段階として会議を19回開催し、6名を対象としている。今後も、関係者が集まって何度もアプローチを行うよう勧めている。

<p>(3) 令和7年度後見中核機関実績報告について（甲州市社会福祉協議会）</p>	<p>○委員 以前、民生員を対象にひきこもり相談支援について周知の依頼があった。その後、ひきこもりの実数把握や対応はどうなっているか。</p> <p>○事務局 ひきこもり支援については、福祉総合支援課の相談担当が窓口となり対応している。民生委員の協力を得て相談窓口の周知を行っているが、本人からの相談は難しいため、家族からの相談をきっかけに訪問や電話での対応を慎重に進めている。</p> <p>○社会福祉協議会 後見中核機関実績報告について次のとおり説明。事業内容として令和5年から後見中核機関として、甲州市社会福祉協議会が受託運営。定期相談会（年6回）、市民・専門職向け講座の開催、相談対応（28件）などを行っている。</p> <p>市民後見人の養成として、現在3名が養成講座を修了。令和8年度からの運用を目指し、人材バンクの設置準備を進めている。</p> <p>法人後見の実績として、社会福祉協議会が法人として後見人を引き受けており、受任件数は年々増加傾向にある。特に知的・精神障害のある方への長期的な支援において、法人が対応するメリットは大きい。一方でデメリットとして、後見人のなり手不足が全国的な課題となっており、市民後見人の養成とバックアップ体制の構築が急務である。</p> <p>（質問・意見なし）</p>
<p>(4) その他</p>	<p>（質問・意見なし）</p>
<p>6 その他</p>	<p>（質問・意見なし）</p>
<p>5 閉会</p>	<p>○事務局 閉会</p>